

# 原子力被災 12 市町村における農業者個別訪問活動結果

令和 7 年 1 月 21 日  
 福島相双復興官民合同チーム  
 営農再開グループ

福島相双復興官民合同チーム営農再開グループ<sup>1</sup>では、平成 29 年 4 月より 12 市町村における被災農業者及び新規参入農業者への個別訪問に取り組んでいます。令和 6 年 12 月 31 日までの 7 年 9 か月の概要について、下記のとおり取りまとめました。

## I. 訪問結果の概要

平成 29 年 4 月から令和 6 年 12 月末までの延べ訪問件数（再訪問を含む）は、12,769 件で、訪問した農業者数<sup>2</sup>（初回訪問者）は、2,600 者である。（各年の内訳は以下）

	H29	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R6	合計
延べ訪問件数	1,265	1,751	1,739	1,669	1,621	1,486	1,590	1,648	12,769
農業者数 (初回訪問者)	1,012	417	338	267	221	145	127	73	2,600

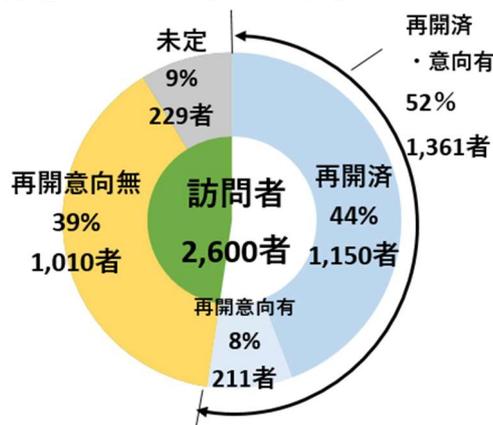
令和 6 年末までに訪問した農業者 2,600 者の営農再開状況等については以下のとおり。

なお、集計値については令和 6 年末時点までの農業者の回答を集計したものであり、初回訪問以降に当該農業者の状況に変化があった場合、その変化を反映したものである。

### 1 営農再開状況及び意向

[令和 6 年末までに訪問した 2,600 者に対する値]

- ・再開済 : 1,150 者 [44%]
- ・再開意向有 : 211 者 [8%]
- ・再開意向無 : 1,010 者 [39%]
- ・再開意向未定 : 229 者 [9%]



### 2 営農再開済の農業者の課題等

[令和 6 年末までに再開済の 1,150 者に対する値]

#### ① 営農再開目的

- ・販売目的 : 925 者 [80%]
- ・自給目的 : 101 者 [9%]

#### ② 農業者が抱える主な課題（上位 3 課題）

- ・農業機械、施設、家畜、新規作物等の導入 : 246 者 [21%]
- ・販路や販売単価の確保 : 158 者 [14%]
- ・労働者の確保 : 134 者 [12%]

1 営農再開グループは、東北農政局、福島県及び公益社団法人福島相双復興推進機構で構成されており、これら 3 機関が連携して農業者訪問活動と支援の取組を実施している。

2 訪問した農業者数は、訪問した農業者のうち営農再開意向の公表の同意をいただいた農業者数。

### 3 営農再開意向はあるが未再開の農業者の課題等

[令和6年末までに営農再開意向のある211者に対する値]

- ① 営農再開目的
  - ・販売目的：147者[69%]
  - ・自給目的：9者[4%]
- ② 農業者が抱える主な課題（上位3課題）
  - ・野生鳥獣の被害防止対策：48者[23%]
  - ・用排水路の復旧：46者[22%]
  - ・除染後農地の課題等：42者[20%]

### 4 再開意向無・未定の農業者の状況

[令和6年末までに再開意向無・未定の1,239者に対する値]

- ① 再開意向無・未定の主な理由（上位3理由）
  - ・帰還しない：493者[40%]
  - ・高齢化や地域の労働力不足：407者[33%]
  - ・機械・施設等の未整備：185者[15%]
- ② 農業への従事意向
  - ・被雇用等により農業に従事する意向有：92者[7%]
  - ・従事しない：979者[79%]
- ③ 農地の出し手となる意向
  - ・意向有：876者[71%]

## II. 活動実績

被災12市町村の農業者の営農再開に結びつくよう、以下の取組を行った。

### 1 地域・集落単位での営農の再開

市町村では、国の担い手政策である「地域計画」（農地担い手の明確化と農地集積・集約を進めるため、地域における農地利用の姿を示した将来地図）の令和6年度内の策定にむけ取組を進めており、営農再開グループは、農地所有者への営農再開意向アンケート回収や各所で行われる集落座談会を通じ、市町村の計画策定等にむけた支援を行っている。

また、担い手不足の課題に対しては、新たな参入企業等の確保に向け福島県関係機関と連携し、参入相談や現地視察会（24者）、参入に向けた市町村との調整（6者）、既に参入をされた担い手の規模拡大に向けた農地集積（10者）等、参入可能な農地へのマッチング支援を行った。

営農再開グループは、これらの取組を行うとともに、南相馬市、楡葉町、富岡町、浪江町、葛尾村、飯舘村、双葉町及び大熊町では以下のとおり取り組んだ。

	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
集落座談会への参加 (参加回数)	29	28	26	18	8	2	50
アンケート回収への協力 (訪問者数)	153	150	216	139	45	255	666
農地のマッチングへの協力 (会議出席回数)	30	49	82	29	12	35	22

## 2 販路の拡大

訪問の結果、「販路や販売単価の確保」に課題があるとの回答があった農業者に対する支援として、延べ314件（事業者マッチング、プラットフォーム230件、専門家による支援39件、宅配企画45件）の販路確保支援を行った。

### ① 事業者マッチング、プラットフォーム

農業者に対して、地元事業者（スーパーの地産地消コーナー、直売所、飲食店）を紹介した。マッチング件数は230件となった。

### ② 専門家による支援

将来的な収穫量の増加を見越した県内外の事業者との直接取引や希望する価格での販売等を実現するため、専門家による支援を39件実施した。

### ③ ECサイトの活用支援

小高マルシェでのECサイトの立ち上げ・運営を支援し、2023年3月からの自走につながった。また、農業者が各種ECサイトやスマホアプリを活用し、全国の消費者の目に届く新たな販路を開拓できるよう説明、紹介を実施した。

### ④ 宅配企画

農業者が収穫した野菜、果実等を段ボールに詰め、飲食店（都内を中心）又は個人顧客に直送する仕組みを構築した。支援件数は45件となった。

### ⑤ 物流体制の構築支援

葛尾村、飯舘村及び田村市の農産物を県内地元スーパーに出荷できるよう、卸売業者様の協力をいただき、新規の出荷につながる取組を実施した。

# 原子力被災12市町村における農業者個別訪問活動結果(データ編)

## 1 営農再開状況及び意向

表-1

	初回訪問時の各年値 ※1								集計値 ※2	
	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	者数	割合
再開済み (1)	218者	107者	137者	100者	143者	87者	52者	20者	1,150者	44%
未再開	794者	310者	201者	167者	78者	58者	75者	53者	1,450者	56%
(内訳)										
再開意向あり (2)	194者	46者	48者	31者	33者	9者	10者	2者	211者	8%
再開意向なし	429者	205者	112者	106者	30者	34者	47者	31者	1,010者	39%
再開意向未定	171者	59者	41者	30者	15者	15者	18者	20者	229者	9%
合計	1,012者	417者	338者	267者	221者	145者	127者	73者	2,600者	100%
再開済・再開意向あり合計(1)+(2)	412者	153者	185者	131者	176者	96者	62者	22者	1,361者	52%

※1 各年値は初回訪問時の聞き取り結果を各年毎に集計したものである。

※2 集計値は、再訪問した農業者について、初回訪問時の状況からの変化を反映して集計したものであり、各年値の合計と一致しない。

(以下の表においても同様)

## 2 営農再開済の農業者の課題等

### ①営農目的

表-2

	初回訪問時の各年値								集計値	
	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	者数	割合
販売目的	202者	97者	125者	83者	129者	72者	41者	17者	925者	80%
自給目的	13者	8者	12者	14者	9者	7者	3者	2者	101者	9%
無回答	3者	2者	0者	3者	5者	8者	8者	1者	124者	11%
合計	218者	107者	137者	100者	143者	87者	52者	20者	1,150者	100%

### ②課題 (1 農業者につき最大3つまで回答)

表-3

	初回訪問時の各年値								集計値	
	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	者数	割合
農業機械・施設・家畜・新規作物等の導入	91者	36者	39者	22者	10者	5者	4者	2者	246者	21%
販路や販売単価の確保	42者	20者	25者	18者	11者	7者	2者	2者	158者	14%
労働力(従業員)の確保	52者	19者	19者	11者	13者	4者	8者	2者	134者	12%
農地の確保	40者	16者	14者	4者	9者	3者	1者	1者	112者	10%
効率的な生産体制の確立	20者	13者	13者	5者	3者	2者	0者	1者	65者	6%
資金の確保	13者	6者	6者	3者	2者	0者	0者	1者	42者	4%
経営計画の策定や経営管理能力の向上	10者	5者	6者	1者	1者	0者	0者	0者	24者	2%
その他	86者	42者	49者	25者	16者	3者	5者	1者	236者	20%

## 3 営農再開の意向はあるが未再開の農業者の課題等

### ①営農目的

表-4

	初回訪問時の各年値								集計値	
	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	者数	割合
販売目的	163者	39者	43者	21者	29者	4者	6者	0者	147者	69%
自給目的	23者	3者	3者	3者	1者	0者	0者	1者	9者	4%
無回答	8者	4者	2者	7者	3者	5者	4者	1者	56者	27%
合計	194者	46者	48者	31者	33者	9者	10者	2者	212者	100%

### ②課題 (1 農業者につき最大3つまで回答)

表-5

	初回訪問時の各年値								集計値	
	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	者数	割合
野生鳥獣の被害防止対策	83者	15者	6者	7者	5者	0者	2者	0者	48者	23%
用排水路の復旧	68者	15者	8者	8者	4者	0者	0者	0者	46者	22%
除染後農地の課題等	38者	6者	5者	3者	4者	1者	1者	1者	42者	20%
土づくり、稲わらすき込み、堆肥散布等	28者	13者	7者	4者	6者	1者	1者	0者	26者	12%
耕起・深耕・整地	33者	7者	4者	5者	3者	0者	1者	0者	22者	10%
その他	52者	16者	17者	10者	8者	2者	0者	1者	48者	23%

#### 4 再開意向のない・未定の農業者の状況

①意向のない・未定の理由（1農業者につき最大3つまで回答）

表-6

	初回訪問時の各年値								集計値	
	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	者数	割合
帰還しない	218者	113者	60者	46者	10者	20者	17者	10者	493者	40%
高齢化や地域の労働力不足	258者	84者	49者	31者	14者	3者	11者	3者	407者	33%
機械・施設等の未整備	116者	54者	19者	20者	7者	0者	1者	0者	185者	15%
農地の確保が困難	69者	17者	10者	2者	1者	0者	0者	0者	82者	7%
販路や販売単価の確保	38者	7者	4者	2者	1者	0者	0者	0者	41者	3%
技術・知見不足	4者	0者	5者	7者	2者	0者	0者	2者	19者	2%
資金不足	5者	0者	1者	1者	0者	0者	1者	0者	8者	1%
その他	308者	148者	52者	79者	10者	15者	9者	7者	547者	44%

②被雇用等により農業に従事する意向

表-7

	初回訪問時の各年値								集計値	
	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	者数	割合
従事する	67者	25者	11者	10者	6者	3者	0者	0者	92者	7%
従事しない	515者	228者	129者	115者	17者	22者	22者	10者	979者	79%
無回答	18者	11者	13者	11者	22者	23者	41者	38者	168者	14%
合計	600者	264者	153者	136者	45者	48者	63者	48者	1,239者	100%

③農地の活用意向

表-8

	初回訪問時の各年値								集計値	
	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	者数	割合
出し手となる意向あり	443者	196者	97者	80者	29者	34者	40者	29者	876者	71%
出し手となる意向なし	137者	56者	45者	45者	10者	9者	7者	2者	310者	25%
無回答	20者	12者	11者	11者	6者	5者	16者	17者	53者	4%
合計	600者	264者	153者	136者	45者	48者	63者	48者	1,239者	100%

【参考】市町村別農業者訪問者数

	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	合計
田村市（都路）	19者	16者	18者	5者	14者	23者	11者	2者	108者
南相馬市	299者	45者	63者	34者	62者	12者	11者	5者	531者
川俣町（山木屋）	26者	5者	14者	6者	14者	8者	22者	4者	99者
広野町	15者	4者	9者	21者	2者	4者	0者	1者	56者
檜葉町	77者	21者	58者	10者	16者	4者	3者	0者	189者
富岡町	114者	196者	27者	96者	7者	13者	5者	1者	459者
川内村	23者	18者	14者	2者	3者	5者	0者	1者	66者
大熊町	65者	9者	10者	6者	25者	0者	10者	6者	131者
双葉町	27者	14者	4者	1者	0者	0者	0者	0者	46者
浪江町	220者	42者	73者	48者	19者	35者	30者	27者	494者
葛尾村	35者	14者	40者	23者	22者	15者	5者	2者	156者
飯館村	89者	30者	7者	12者	24者	3者	0者	3者	168者
注）上記12市町村以外	3者	3者	1者	3者	13者	23者	30者	21者	97者
合計	1,012者	417者	338者	267者	221者	145者	127者	73者	2,600者

※総務省「市町村コード」順

注）上記12市町村以外は、被災12市町村以外からの新規就農者数等である。